

## 二宮町環境審議会 会議次第

日 時 平成26年2月14日（金）

午後2時00分より

場 所 二宮町役場 第1会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 「平成24年度二宮町環境基本計画実施行動計画」の進捗状況について

(資料1)

(2) 「第2次環境基本計画実施計画評価シート」(案)について

(資料2、資料3)

(3) その他

4. 閉 会

# 二宮町環境審議会

(敬省略)

氏名	役職等	備考	任期
大矢 孝道	地区長連絡協議会 会長	1号委員	H25. 7. 30～H26. 8. 29
亀井 常彰	公募	1号委員	H24. 8. 30～H26. 8. 29
岡田幸次郎	公募	1号委員	H24. 8. 30～H26. 8. 29
古澤 有三	商工会 副会長	2号委員	H24. 8. 30～H26. 8. 29
西山 文夫	農業委員	2号委員	H24. 8. 30～H26. 8. 29
土谷美智代	地球温暖化防止活動推進員	3号委員	H24. 8. 30～H26. 8. 29
藤田 成吉	東海大学教養学部 人間環境学科 元教授	3号委員	H24. 8. 30～H26. 8. 29
三橋 智子	議会議員	3号委員	H24. 8. 30～H26. 8. 29
桑田 正明	山西小学校 校長	3号委員	H25. 7. 30～H26. 8. 29
飯田 信行	神奈川県環境科学センター	3号委員	H24. 8. 30～H26. 8. 29

二宮町環境審議会規則

第2条第2項

- (1)町民
- (2)事業者
- (3)学識経験を有する者
- (4)その他町長が必要と認めたもの

1【生物多様性の保全】 多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち

基本施策	取組み・事業等	審議会意見	町の対応	回答 担当課
1-2 丘陵地や谷戸などの保全	④遊休・荒廃農地対策事業【新規】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菜の花やオリーブの栽培に遊休・荒廃農地を活用することで地域の循環型社会の実現に繋げ、地産地消を行うという視点からも評価してほしい。</li> <li>・平成27年度目標が遊休・荒廃農地の解消面積0.5haのところ、平成24年度に3.5ha解消しているのだから、評価はBでなくAで良いのではないか。Bという評価をした説明が欲しい。補助金を使った解消ができなかったとしても、農業者、県、農協との連携が良かったなら、そこを評価して良いと考える。評価シートから連携の部分がどうであったか読み取ることができると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリーブを町の特産物として位置付け、遊休・荒廃農地を解消しながら栽培面積の拡大に努め、地産地消について検討していきます。</li> <li>・農業者、農業委員及び町との連携により、担い手への農地利用集積が成立しており、これについては一定の成果が得られています。一方で、補助金活用という部分では一部達成できなかったため、B評価としました。</li> </ul>	産業振興課 農業委員会事務局
	⑤緑の基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の確保ができずCという評価がされているが、補助金を得るために何をしたか、協力・連携等についても詳しく評価シートに記載し、そのことも合わせて評価してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風致公園整備は、平成26年度までの整備計画であるため、平成26年度目標を達成した時点を100%（A）として評価したため、Cとなりました。</li> <li>・また、補助金の確保については、申請は出来る限り行っていますが、国の財政事情等もあり、要望額に対し満額の補助金が配当されませんでした。</li> <li>・来年度以降は、目標達成に向けた整備の進捗状況等を勘案し評価を行うように、評価方法を変更いたします。</li> </ul>	都市整備課
	⑥二宮せせらぎ公園におけるホテル観賞会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアとの連携や、維持管理について詳しく評価シートに記載し、評価してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの方々に、ホテルの発生前後の生態調査などの情報交換や、観賞会では来園者の誘導案内をお願いしました。</li> <li>・公園内の維持管理においては、農業等を使用せずに草刈りなどを実施し自然環境に配慮しました。</li> </ul>	都市整備課
1-3 水と親しめる葛川の再生	⑧葛川改修計画（県）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理なことをお金をかけて行うのは難しく、また地域の住民と一緒に行わないと利用されない設備になってしまうと思う。しかし、あきらめ感が漂っているのが気になる。多自然型護岸整備と氾濫対策を融合させる方向を見いだせないか、検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修未整備の区間は近年外水氾濫が起きているため、河川改修と合わせての護岸整備を県と協議します。</li> </ul>	都市整備課
1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	②海岸清掃（かながわ海岸美化財団）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の設定の仕方に問題があるのではないかと。指標そのものの捉え方を、「ごみが毎年減ることを目指す」のではなく「ごみを拾う量を増やす」というように変更する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の評価から、目標の設定を「ごみを拾う量を増やす」ことに変更します。</li> </ul>	生活環境課
1【生物多様性の保全】 多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち 全体 進捗、評価、課題等についての意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-2.丘陵地や谷戸などの保全で、自然災害対策の視点を事業に取り入れることが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の手入れや間伐材の再利用を通して保全活動を実施することで、自然災害の防止に繋がることから、引き続き、里山保全活動に取り組んでまいります。</li> <li>・台風等による倒木の危険を事前に対処し災害対策を実施します。</li> </ul>	都市整備課 産業振興課 農業委員会事務局
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課とも生物多様性の保全という視点を入れて事業評価をしてほしい。整備するときに生物多様性の保全のためにどういった取組みを行ったか、配慮をしたかを評価シートに記載してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度の評価から、生物多様性の保全という視点を入れて事業評価をするよう心がけます。生物多様性の保全のための取組みや配慮について詳細に評価シートに記載するよう心がけます。</li> <li>・公園等の維持管理や里山保全活動、広域行政の連携等の中で、自然が本来持つあるべき姿や機能を向上させることも考えながら、生物多様性の保全につながる活動を考慮し、取組みを実施します。</li> <li>・公共下水道整備事業としては、早期に葛川の水質が改善されるように、人口が集中している市街化区域を先行して整備を行っております。また、下水道の普及促進については、未接続者に接続助奨をし、接続していただくことにより、家庭から葛川に流れている雑排水を無くし、水質の向上を図っております。</li> </ul>	生活環境課 都市整備課 産業振興課 農業委員会事務局 下水道課 企画政策課

2【循環型社会の実現】環境にやさしい循環型のまち

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応	回答 担当課
2-1 リユースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	②水分ひとしぼり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみが減量化しているが、水分率は上がっている。</li> <li>ごみ分析の調査方法を見直すべき。調査する日、地区、天候などを統一し、異常値が出ないようにしてほしい。</li> <li>「水分もうひとしぼり運動」とネーミングし直し、取り組んではどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査日などを統一し、分析を行います。</li> <li>ご意見の通り、「水分ひとしぼり運動」を「水分もうひとしぼり運動」に変更します。</li> </ul>	生活環境課
	③マイバック・マイボトル等の啓発【新規】	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイバックの利用率についての実態を調べてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書上に数値を記載できる情報は得られませんが、出来る限り実態を把握してまいります。</li> </ul>	生活環境課
2-2 リユースやリサイクルの促進	①簡易粉碎機の貸出（剪定枝）	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値が低い。チップパー機を貸し出せる上限くらいを目標値にすべきであり、少なくとも30件から50件は目指してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出件数は平成23年度 12件、平成24年度 16件でした。しかし、過去最高で24件の年度があります。今後、剪定枝資源化施設の建設を予定していることを勘案し、当面は、目標を15件から25件に変更し、過去最高の件数維持を図るため、一層の住民周知に努めます。</li> </ul>	生活環境課
	②町内でのリユース・リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>不用品登録制度については、利用しやすいシステムを作らないと普及しない。よく検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども用品活用バンクとして対象を絞り、利用しやすいシステムにするため、子どもの保護者と直接に係る子ども育成課と一緒に検討中です。</li> </ul>	生活環境課
	③生ごみ堆肥化容器購入補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助実績も伸びており、評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、同補助制度による補助金の交付を続けます。</li> </ul>	生活環境課
	④廃食用油回収事業（石けんづくり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃食用油の収集が始まり、リサイクルもできているので、石けんづくりの事業については、再考してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再考いたします。</li> </ul>	生活環境課
	⑤グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者、小中学校に大量購入するときの割合を調べたらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県、近隣市町等で調査しているか確認しましたが、そのようなデータの把握はしていませんでした。CSRのしっかりとした大手企業はデータ収集を行っていますが、町内の事業者について把握することは難しい状況です。</li> <li>小中学校ではコピー用紙を再生紙で100%購入しています。</li> </ul>	生活環境課
2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	②ごみ置場散乱防止対策（カラスネット配布）	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラスネットはかなり浸透している。今後配布枚数が少なくなる可能性が高い。配布枚数が減り、事業評価が低くなるのは、おかしいので、配布枚数を指標とするのはいかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラスネット以外でのごみ置場の適正管理に対する数値指標を設定することは困難です。今後は、カラス被害状況等も勘案し評価を行います。</li> </ul>	生活環境課
2-4 不法投棄防止の推進	②不法投棄物の撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄される前の対策を検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在もパトロール、看板設置などを行っておりますが、今後は一層、不法投棄をされる前の対策に力を入れてまいります。</li> </ul>	生活環境課
2-5 地産地消の促進	①地元産品の消費促進【新規】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラディアン朝市が入っていない。何故か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラディアン朝市が地元産品の消費促進に資するものであることは認識しておりますが、町内の生産者や事業者のみで開催し、二宮ブランド商品も多数出品している、ふるさとまつり及び海の朝市を記載しています。</li> </ul>	産業振興課
	②（仮称）食へ残しゼロ運動【新規】	<ul style="list-style-type: none"> <li>食へ残しゼロ運動が教育現場において児童・生徒への無理強いにならないようにするため、啓発方法等のあり方の検討が必要と思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒へ無理強いにならないような啓発方法の検討に努めます。</li> </ul>	生活環境課
	③地元産品の循環型活用の促進【新規】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい農園は、コンポスト等の生ごみ処理機を使用する者しか利用できないような条件設定ではどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい農園は農地の荒廃化防止と町民の健全な余暇利用の推進、農業を通じた人の交流、生きがいづくり等に寄与しています。ご意見の内容について協力を呼びかけることは可能ですが、制限を設けることは相応しくないと考えます。</li> </ul>	産業振興課 生活環境課

3【低炭素社会の形成】地球環境の保全に取り組むまち

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応	回答 担当課
3-1 省資源・省エネルギー活動の促進	①ムダな電力消費等の節約啓発【新規】	・子どもの環境教育にも繋がるので小中学校へソーラーパネル及びその発電量表示板の設置を推進してほしい。	・平成27年度に予定しております二宮小学校へのソーラーパネル設置について、生活環境課と教育総務課で連携しながら進めます。 ・発電量表示板の設置については、教育総務課と生活環境課で連携しながら検討して参ります。	教育総務課 生活環境課
	③公用車におけるエコカーの導入	・公用車にEV車を導入するだけではなく、町民や観光客へのPRにも繋がるように、EV車への購入補助、EV充電設備の設置などの目標を掲げてほしい。	・公用車については、現在順次車両更新時に低公害車の導入を進めておりますが、EV車の導入や役場駐車場等における充電設備の設置は今後の課題となっております。第2次環境基本計画実施計画中期に向け、EV車への購入補助、EV充電設備の設置などの新事業に取り組むか、検討します。	公共施設課 生活環境課
	⑤バリアフリーの推進	・道路拡幅工事が計画通り実施できたため評価Bとなっているが、自動車の利便性が高まるだけで公共交通への利用転換に結びつかないと思う。歩いて移動しやすい歩道を整備したという評価視点が必要である。	・平成24年度は、通学路の安全対策として車道の拡幅と合わせ歩道整備を行いました。 ・事業そのものが「歩行者が安心して通行できる歩道を確保するとともに、高齢者、障がい者の区別なく自立して通行が可能なようバリアフリー化を推進する」ものなので、すでに「歩いて移動しやすい歩道を整備したという評価視点」を取り入れて評価しています。	都市整備課
	⑥公共交通への利用転換の促進	・目標値がコミュニティバスの乗車人数で評価するとなっているが、コミュニティバス事業単独では町全体の把握に繋がらない。いかに交通不便地域を減らせるかという視点が必要である。また、利用者数100人/日を目標値にする根拠を明確にしてほしい。 ・交通不便地域の解消を目標とすることにより、低炭素社会の形成に効果的に寄与すると考えられる。	・町内の公共交通は民間事業者による路線バスを中心としており、それ以外の交通手段としてコミュニティバスが交通不便地域を中心に運行しております。現状の利用者数が100人を満たしていない状況から地域公共交通計画では当面の目標として100人/日としています。 ・公共交通への利用転換促進としてモビリティ・マネジメントを実施し、自家用車からの転換を促しております。	企画政策課 都市整備課
	⑦駅前駐輪場の整備（利用者の利便性向上）	・ハード面を整備し駐車台数を確保するだけでは、低炭素社会の形成に結びつかない。マイカー通勤から自転車通勤へ切り替えさせるような施策が必要である。	・駅北口駐輪場の利用料金の値下げを行い、自転車をより利用しやすいようにしました。11月末現在、昨年度と施設利用率を比較すると、12.5%増加しているため、車から自転車へ切り替えが行われているものと考えます。	防災安全課
3-2 自然エネルギーに関する情報収集・提供【新規】の活用	・情報をHPでPRしたということだけでは事業効果の具体性がない。目標設定を変えた方がよい。せめて、HPがどれだけ見られたかカウントするなどレスポンスがわかる目標値にできないか。	・太陽光発電補助事業、住宅リフォーム補助事業のホームページの閲覧数をカウントします。3-2①②は、目標値の指標を閲覧数にします。	生活環境課	
3-3 緑化や雨水利用などによる環境の保全	・小学校での実施には課題があり難しい。他の公共施設にも積極的に緑化に取り組んでほしい。	・平成24年度は、担当課職員ができる範囲で町役場と環境衛生センターで取り組みました。	生活環境課	
3【低炭素社会の形成】地球環境の保全に取り組むまち 全体進捗、評価、課題等についての意見		・3-4.環境保全による安全なまちづくりについて、評価に減災の視点も取り入れていただきたい。	・第2次環境基本計画実施計画評価シートへの記載を各課に依頼する際、減災の視点も取り入れた記載をしていただくようお願いいたします。 ・狭い道路等の拡幅整備に伴う減災効果の検証を検討します。	生活環境課 都市整備課
		・3-2.①太陽光エネルギー（ソーラー・温水器など）利用の啓発については、平成34年度までに町内にソーラー発電所等を設置するなど、目で見てわかる目標を掲げてほしい。 ・公共未利用地等でメガソーラーを設置した際は、そこで発電した電気のデマンドタクシー等による活用を検討していただきたい。	・未利用地等でのメガソーラー設置については、現状では費用対効果の関係より有効的な設置場所がない状況であり今後も調査研究が必要な状況です。二宮町第2次環境基本計画実施計画中期に向け、新事業にすることを検討したいと思います。 ・デマンドタクシーは、二宮駅に待機している既存の民間タクシーを活用しているため、タクシー車両を電気自動車へ変更するには、タクシー事業者の協力が必要となります。現在、タクシー事業者ではLPガス車両とハイブリット車両で排出ガスや燃費の比較検討を実施しています。町では今後、ハイブリット車両を含め電気車両への転換について、タクシー事業者と協議していきます。	公共施設課 都市整備課 企画政策課 生活環境課

4【計画の推進方策】3つの基本目標に共通する取組み

基本施策	取組み・事業等	審議会意見	町の対応	回答 担当課
4-1 “町民・事業者・町”による計画推進	②環境に関するイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題として「より多くの町民に参加していただけるように、広報に努める。」とあるが、そもそも何人集まったか記載されていない。参加者人数等、値を把握しているものは記載をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境づくりフォーラム展は、講座や講演会への参加人数を把握していますので、それを記載するようにします。</li> </ul>	生活環境課
	④商店街等との連携による環境に関するシステムづくり <small>(買い物かご持参による優遇措置など)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコカード取扱店舗数を数値目標にして評価しているが、これでは事業者の方の視点のみでの評価になる。実際の利用とは乖離があると思うので指標の検討をお願いしたい。</li> <li>・ジョイスタンプに加盟していなくても商連等が働きかけを行い、エコカードの取り扱い店舗を増やせば良い。</li> <li>・エコカード扱い上位社を表彰するなど、検討してほしい。使いにくいポイント制度も含め、仕組みを見直した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱店舗数を増やすことは、環境に関するシステムづくりの入口であり、裾野を広げることが、町民への認識拡大に繋がるものと判断し、指標としています。なお、販売型の店舗でない、この制度には不向きであることもあり、参加店舗が伸び悩んでいるのも事実です。</li> <li>・今回いただいたご意見については、実施主体である二宮町商店連合協同組合に伝え、より利用しやすい制度となるよう対応を協議します。</li> </ul>	産業振興課
4-3 “学習・情報共有”による計画推進	①環境情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報掲載回数、ホームページの更新回数を目標に掲げているところについて、指標をアクセス数に変えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握できる場所は、ホームページのアクセス数を把握します。指標自体は変更せず、把握した数値を実績に記入し、それも踏まえた評価を行うようにします。</li> </ul>	生活環境課
4【計画の推進方策】3つの基本目標に共通する取組み 全体進捗、評価、課題等についての意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-2.“横断的な取組”による計画推進及び4-3.“学習・情報共有”による計画推進で、生涯学習、環境教育、防災教育、福祉教育は各課連携して行えるよう検討していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習、環境教育、防災教育、福祉教育は、各事業において既に各課と連携している業務もありますが、今後、より一層の連携が深まるよう、互いに情報の提供と収集を行っていくとともに、その体制づくりに努めてまいります。</li> <li>・防災教育としては、各地区の自主防災組織訓練等で実施される防災講義、応急手当訓練、消火器取扱い訓練、応急担架作成訓練、炊出し訓練等を通じて防災意識の高揚と技術の習得を図っていき、小学生・中学生・高校生等といった幅広い年齢層の訓練参加を促し求めています。</li> </ul>	生涯学習課 生活環境課 防災安全課 保険医療課

	意見	町の対応	回答 担当課
平成24年度二宮町第二次環境基本計画実施計画 全体進捗、評価、課題等についての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民・事業者・町による連携・協力や施策間・主体間の横断的な取組みを掲げているが、必ずしも適切に反映されているとは言えない。当該推進方策を踏まえ、各施策の計画・実施状況・評価の再検討が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民・事業者・町による連携・協力や施策間・主体間の横断的な取組みを意識しながら、各施策の平成26年度計画・平成25年度実施状況・平成25年度評価について検討するよう、各課に依頼します。</li> </ul>	生活環境課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値的達成度の評価に止まらず、事業内・事業間・他団体・他部局等との協力・連携、事業のマネジメント手法、補助金や予算措置に係るプロセス等も含め、総合的な視点の導入も検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課に評価シートの記載を依頼するとき、数値的達成度の評価に止まらず、事業内・事業間・他団体・他部局等との協力・連携、事業のマネジメント手法、補助金や予算措置に係るプロセス等について詳細に記載し、総合的に事業評価を行うようお願いいたします。</li> </ul>	生活環境課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業及び達成状況の表において、進捗状況が一目でわかるよう目標値と目標達成度を明示してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>段階的な目標値が必要と考える。年度毎の目標値の記載してはどうか。</li> <li>可能なものは他の自治体と比較してどうかということを示していただきたい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課に評価シートの記載を依頼するとき、目標値と達成値の記載、相場の分かる情報の記載をお願いいたします。</li> </ul>	生活環境課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種施策のうち柱となる事業を重点施策として取り上げ、第二次環境基本計画の推進に向けて町内外に情報発信していくことも考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二宮町第二次環境基本計画実施計画【中期】作成時に、重点施策をピックアップすることを検討します。</li> </ul>	生活環境課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>27年度の目標と比較して評価をしている事業と、単年度での目標と比較して評価している事業とが混在している。V 総合評価も含め、評価方法や表現について検討し、前期の後半に向けて評価の精度を上げることが必要と思われる。目標の設定、評価の視点が妥当なものになるように、少しずつ改善していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度までの前期目標達成に向けた当該年度の目標に対する達成度を、A、B、C、Dの評価で記載していただくように各課に依頼します。</li> <li>評価シートの形式については、中期での変更を検討します。</li> </ul>	生活環境課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化の進行も踏まえ、町域全体がバリアフリーになるような施策連携・協力の輪の拡充に努めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化の進行も踏まえ、バリアフリー化を意識し、事業を推進するよう致します。</li> </ul>	生活環境課

平成 26 年 月 日

各課等の長 殿

町民生活部生活環境課長

「第 2 次環境基本計画実施計画評価シート」の作成について（依頼）

日頃より、二宮町環境基本計画の推進につきまして、ご協力いただきありがとうございます。

平成 24 年度から『二宮町第 2 次環境基本計画実施計画【前期】』を推進しております。

つきましては、「第 2 次環境基本計画実施計画評価シート」の平成 25 年度進捗状況及び平成 26、27 年度の事業計画（数値指標目標値）をご記入の上、お忙しい中大変恐縮ですが、下記の通りご提出くださいますようお願いいたします。

記

1. 記入方法 「第 2 次環境基本計画実施計画評価シート」に入力し、メールに添付してご提出くださいますようお願いいたします。データはイントラインフォメーションにあります。記入方法につきましては、裏面をお読みください。
2. 回答期限 4 月 25 日（金）

お問い合わせ 生活環境課生活環境班 青柳  
内線（3 2 3）

## 第2次環境基本計画実施計画評価シートの入力方法について

『二宮町第2次環境基本計画実施計画』に掲載されているすべての事業等について対象になります。『二宮町第2次環境基本計画実施計画』（イントラインフォメーションにあります）を参照の上、下記の通り確認・入力をお願いいたします。

○評価シートの**桃色のセル**に新たに入力をお願いします。別紙 記入例もご参照ください。また、別紙 平成24年度二宮町第二次環境基本計画の進捗状況について 意見表で、審議会意見、町の対応等確認しながら入力していただきますようお願いいたします。

○記入時のお願い

- ・英数字は、半角で記載していただきますようお願いいたします。
- ・文末は、敬体ではなく、常体で記載していただきますようお願いいたします。
- ・箇条書きで記載していただきますようお願いいたします。
- ・年度、年の記載は、「平成■年度、平成■年」に統一していただきますようお願いいたします。

○ 平成■年度、平成■年 × ■年度、■年、H■、20XX年度、20XX年

○記入する項目について（全体）

平成 25年 度	事業計画	・平成25年度目標値を加筆してください。
	実績（実施状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体の状況、数値など相場の分かる情報をできるだけ加筆してください。</li> <li>・事業内・事業間・他団体・他部局等との協力・連携、事業のマネジメント手法、補助金や予算措置に係るプロセス、設備等の維持管理方法などについて詳細に記載してください。</li> </ul>
	評価及び説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度までの前期目標達成に向けた当該年度の目標に対する達成度を、A、B、C、Dの評価で記載してください。【説明】には、状況や、その数値になった理由も記載してください。</li> <li>・数値指標、目標値は設けられていますが、数値的達成度の評価に止まらず、協力・連携やあらゆるプロセス等についても含め、総合的に事業評価を行うようお願いいたします。</li> <li>・それぞれの事業の基本目標（1. 生物多様性の保全、2. 循環型社会の実現、3. 低炭素社会の形成、4. “学習・情報共有”による計画推進）の視点を入れて、事業評価をしてください。例えば、基本目標1の事業については、その事業を行うときに、生物多様性の保全のためにどういった取組みを行ったか、配慮したかを記載してください。</li> </ul>
	今後の課題	・今後の課題を記入してください。
平成 26・ 27年 度	事業計画	・平成26年度目標値、平成27年度目標値を加筆してください。

○ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

第2次環境基本計画実施計画評価シート(案)

記入例

担当部課等名	町民生活部 生活環境課
基本目標	4. 計画の推進方策
基本施策	4-1 “町民・事業者・町”による計画推進

No.	②	事業名	環境に関するイベントの開催
事業内容	環境活動団体との連携・協力によりイベントを開催し、団体の活動の紹介を通じながら、環境問題への意識啓発を行う。		
連携・協力	環境活動団体(環境づくりフォーラム等)、廃食油回収・再利用推進委員、町民		

基本施策に対する評価の視点	・町民・事業者・町の3者が連携し協力して取り組んでいるか。
---------------	-------------------------------

数値指標	環境活動団体との連携によるイベント開催数			
前期(27年度)目標値	1回	【目標値の根拠】 環境づくりフォーラム展の開催数として毎年実施することを目標とした。		
実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	1回	1回		

評価指標	A:事業の目的を達成できた、または同等の成果が得られた。 B:計画通り実施し、一定の成果が得られた。 C:計画通り実施できず、ほとんど成果が得られなかった。 D:計画未実施
------	---

平成24年度	事業計画	・町内で環境活動に取り組んでいるグループ、農業者、商業者、事業者の集合体である環境づくりフォーラムと町が連携し環境づくりフォーラム展を開催する。 主催:環境づくりフォーラム 共催:二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、講演会、剪定枝堆肥の配布、廃食油石けんづくり等		
	実績(実施状況)	・環境づくりフォーラム展を開催した。 主催:環境づくりフォーラム 共催:二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、町職員による講演会、剪定枝堆肥の配布、廃食油石けんづくり等を行った。		
	評価	B	【説明】 ・生活環境課職員、二宮町廃食油回収・再利用推進委員会が連携し行った廃食油で石けんを作る講座や、生活環境課職員による「二宮町のごみ処理について」の講座を行い、環境づくりフォーラムと連携できた。また、町民の参加も多くあったため、評価をBとした。	
	今後の課題	・より多くの町民に参加していただけるように、広報に努める。		
	環境審議会意見	・課題として「より多くの町民に参加していただけるように、広報に努める。」とあるが、そもそも何人集まったか記載されていない。参加者人数等、値を把握しているものは記載をお願いしたい。		
	町の対応	・環境づくりフォーラム展は、講座や講演会への参加人数を把握していますので、それを記載するようにします。		

平成25年度	事業計画	平成25年度目標値:1回 ・環境づくりフォーラム展を開催する。 共催:環境づくりフォーラム・二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、講演会、剪定枝堆肥の配布、廃食油石けんづくり等	
	数値指標の 25年度目標値を加筆する。		
	実績 (実施状況)	環境づくりフォーラム展を開催した。 主催:環境づくりフォーラム 共催:二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、県職員等講師による講演会(参加人数47人)、廃食油石けんづくり(参加人数47人)、剪定枝堆肥の配布(200袋)、水切りキャンペーン(水切りネット30枚入り240袋、10枚入り100袋配布)等を行った。 ※参考:平成24年度 講演会(参加人数61人)、廃食油石けんづくり(参加人数38人)、剪定枝堆肥の配布(200袋)	
	評価	B	【説明】 ・生活環境課職員、二宮町廃食油回収・再利用推進委員会が連携し行った廃食油で石けんを作る講座や、水切りキャンペーン等を行い、環境づくりフォーラムと連携できた。 ・ごみ減量化を図るため、水切りキャンペーンをのぼりを揚げながら啓発シールを貼った水切りネットを配布したことで、昨年度より多くの人を展示会場へ誘導できたと考える。(展示会場を閲覧した人数の把握は、常時スタッフが確認していることが難しい為行っていないが、感覚として増えている。)しかし、講座、講演会の参加者が少なかったため、評価をBとした。
	25年度目標に対する達成度評価を記載する。		
	今後の課題	・講座、講演会により多くの町民に参加していただけるよう、広報に努める。	
	環境審議会意見		
	町の対応		
平成26年度	事業計画	平成26年度目標値:1回 ・環境づくりフォーラム展を開催する。 共催:環境づくりフォーラム・二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、講演会、剪定枝堆肥の配布、廃食油石けんづくり等	
	数値指標の 26年度目標値を加筆する。		
	実績 (実施状況)		
	評価		【説明】
	今後の課題		
	環境審議会意見		
	町の対応		
平成27年度	事業計画	平成27年度目標値:1回 ・環境づくりフォーラム展を開催する。 共催:環境づくりフォーラム・二宮町 環境保全団体の活動内容の展示、講演会、剪定枝堆肥の配布、廃食油石けんづくり等	
	数値指標の 27年度目標値を加筆する。		
	実績 (実施状況)		
	評価		【説明】
	中期実施計画に向けた課題		
	環境審議会意見		
	町の対応		

**記入時のお願い**

- ・英数字は、半角で記載していただきますようお願いいたします。
- ・文末は、敬体ではなく、常体で記載していただきますようお願いいたします。
- ・箇条書きで記載していただきますようお願いいたします。
- ・年度、年の記載は、「平成■年度、平成■年」に統一していただきますようお願いいたします。

○ 平成■年度、平成■年  
 × ■年度、■年、H■、20XX年度、20XX年

## 第2次環境基本計画実施計画評価の流れについて

## CHECK 把握・評価

3月～4月	【担当課】	「評価シート」の作成 事業等の取組みについて、担当課による自己点検・評価・課題の抽出
5月～6月	【事務局】	「進捗状況の点検・とりまとめ」 進捗状況を基本施策ごとにとりまとめ
7月	【第1回 環境審議会】	「評価シート」と「進捗状況の点検・とりまとめ」 について意見
8月	【事務局】	「審議会意見とりまとめ」作成
8月	【第2回 環境審議会】	「評価シート」と「進捗状況の点検・とりまとめ」 について意見 「審議会意見とりまとめ」の確認
10月	【事務局】	「進捗状況報告書」「審議会意見とりまとめ」完成 基本目標ごとに進捗状況、審議会意見をまとめる。

## ACTION 事業等の見直し・改善

10月～	【担当課】	審議会意見に対する回答 審議会意見についての対応・改善・予算措置等
2月	【事務局】	審議会意見に対する回答の集約 基本目標ごとに進捗状況、審議会意見をまとめる。
2月～3月	【第3回 環境審議会】	審議会意見に対する回答の確認 「評価シート」項目等の見直し